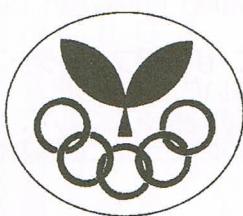


宇治市スポーツ少年団だより



あかるく つよく

この宇治市スポーツ少年団だより「あかるく（つよく）」個人的には「笑顔で」と付け加えたいところですが、まずは、このたびの東日本大震災で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。この未曾有の大災害となった東日本大震災は、私たちの生活基盤や社会構造が想像以上に脆弱であることを明らかになりましたが、各種報道機関より届けられた被災地の映像からは、無縁社会という言葉に象徴される地域力低下や家族の絆の希薄さを感じることはありました。自衛隊をはじめ全国各地の公務員やNPO・ボランティアが日本中から駆け付け黙々とガレキを片付ける姿には感動すら覚えま

ひとは一人で生きているのではなく、家族や地域、社会や自然と共に生きているのだと改めて感じました。だからこそ、オールジャパンで被災地の復興復旧に取り組むことは喫緊の課題であり、その根底にあるのは自分以外のものへの「リスクペクト（尊敬）」、それには各々が目の前のやるべきことをしつかりとやることを第一義に、スポーツ少年団活動に取り組んでいきたいと考えています。

スポーツ少年団は、一九六一年に財団法人日本体育協会

第30号

発行日：平成23年7月25日

発行：宇治市スポーツ少年団本部

編集：広報委員会

事務局：宇治市五ヶ庄三番割官有地

(財)宇治市体育協会内

TEL: 0774-32-1905

FAX: 0774-32-1985

リスクペクト（尊敬）

宇治市スポーツ少年団

副本部長 平田研一

この宇治市スポーツ少年団だより「あかるく（つよく）」個人的には「笑顔で」と付け加えたいところですが、まずは、このたびの東日本大震災で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。この未曾有の大災害となった東日本大震災は、私たちの生活基盤や社会構造が想像以上に脆弱であることを明らかになりましたが、各種報道機関より届けられた被災地の映像からは、無縁社会という言葉に象

ひとは一人で生きているのではなく、家族や地域、社会や自然と共に生きているのだと改めて感じました。だからこそ、オールジャパンで被災地の復興復旧に取り組むことは喫緊の課題であり、その根底にあるのは自分以外のものへの「リスクペクト（尊敬）」、

それは各々が目の前のやるべきことをしつかりとやることを第一義に、スポーツ少年団活動に取り組んでいきたいと考えています。

スポーツ少年団は、一九六一年に財団法人日本体育協会

が創設した歴史あるスポーツクラブです。「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを」、「スポーツを通じて青年のからだとこころを育てる組織を地域社会の中に」と願い創られました。全国約二十一万人の指導者と、約八十八万人のスポーツが大好きな仲間たちがスポーツ少年団に登録しています。

宇治市スポーツ少年団もその設立趣旨に基づき、地域に密着したスポーツ活動を通じて「青少年のかつだ」ところを育てる」つまり「青少年健全育成」に取組んでいます。しかし、ことあるごとに言われる健全育成とは一体どんなことなのか、問われても明確に応えることは難しくはつきり分かりません。

目標がはつきりしないと、そこに到達するための方法も考えようがありません。しかし健全育成が分からなくても親は「自分の子どもは思いやりのある子に育つてほしい」と願っていることは世論調査

国民文化祭ステッカー

市役所・市の主な公共施設で配布中

マーチングフェスティバル & 全国田楽祭 in UJI
10:30~11:30 時間: 10月30日(土) 会場: 宇治市文化センター

第26回国民文化祭宇治市実行委員会

あかるく、つよく、笑顔で…

< 剣道部会 >

興だ稽古としさがたん本供少けの員單味か古し我てんいちな家だ年に交劍くも単劍道部会は現在、単位団が十団体。団員は幼稚園児から中学三年生までの男女です。したがたん本供少けの員單味か古し我てんいちな家だ年に交劍くも単劍道部会は現在、単位団が十団体。団員は幼稚園児から中学三年生までの男女です。



< 野球部会 >

部長 大石 賢一

現在、野球部会は21の単位団が「地域に密着したスポーツ活動を通じて青少年の健全育成」に取り組んでいます。

今回は、21単位団を代表して「伊勢田ファイターズスポーツ少年団」から、活動報告をいただきました。

今年も、それぞれの単位団相互の連携を密にして、精一杯の活動を行いますので皆さん方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

【 私達の団活動 】

・目的

野球を通じ人としての育成。規則を守る。その精神を養う。更に健康で明るく元気に、そして強い身体を作り、野球をする上での基礎基本を覚えさせ、楽しい団生活が又少年少女時代を送れるようにと指導しています。

・達成のため

スポーツ少年団 野球連盟の大会、その他の大会。

親善交流試合の他年数回 団員家族全員参加のもとレクリエーションを行い、上下の絆、家族・指導者との絆を深めながら一年の活動を繰り返しております。



伊勢田ファイターズスポーツ少年団 代表 福田 八惣一

< サッカー部会 >

部長 平田 研一

(現状)

宇治市スポーツ少年団・サッカー部会には宇治市内の小学校グラウンドを本拠地とする13の単位団が加盟しています。アマチュアサッカーにシーズンオフは無く、春・夏・秋・冬、季節、天候(雷は不可)に関係なく年間を通して活動しています。また、毎月定例の代表者会議(平日の夜)を開催し、チーム間の意志疎通を図っています。仲が良いのがサッカー部会の特徴。

本年度から大きく変わった点としては、4年以上にリーグ戦が導入されたことと全日本少年サッカー大会が8人制(今まで11人制)になったこと。賛否いろいろな意見はありますかが、メリットがあるのも事実。積極的に取り組んでいきたいと考えています。

また、サッカー部会が主管となり他府県から友好チームを招待して開催する大会が「チャレンジカップ」と「宇治招待少年サッカー大会」、今年から「親睦」と“スキルアップ”と大会の性格を明確にしました。写真は本年3月に開催した「チャレンジカップ」の表彰式の様子です。サッカー部会の課題は、団員確保と活動場所確保、宇治のチームが京都で一番になるには宇治市内に芝(天然 or 人工)の競技場をつくることが一番の早道。



< 空手道部会 >

部長 谷口 芳宣
空手道部会は、十一種目ある部会の中で、二番目に会員数が多い部会でもあります。各種の本部事業には、積極的に参加し、中心的な活動を致しております。
また、部会間の連携や選手育成にあたりましても、京都府下においてもトップクラスの実績を残し、毎年府代表選手を多く輩出、全国大会に出場しております。
特に、昨年の第10回全日本少年少女空手道選手権大会においては、組手競技の部小学生6年女子で奥田遥菜選手(心華館)が優勝、形競技の部年女子で芳賀愛心選手(芳道館)がそれぞれ準優勝をし、3名の全国選手を輩出致しました。
これは、当部会が流派を超えた市民的な立場で、空手の新しい方向性を作り出すために、役員同士の融和を図り、組織と選手育成に力を傾注しております。
これからも、将来楽しんで社会に奉仕できる青少年を育てていきます。



< 少林寺拳法部会 >

部会長 辻崎 竹彦
 少林寺拳法は、心身を鍛える修養法である

少林寺拳法の修行を通じて、肉体と精神の両面での修行によって、本当に自分が頼りにすることの出来る自分を確立し、やがて自信と勇気と行動力と慈悲心と正義感を持つた人を育てる。

・ 健康増進（丈夫で健康な人間をつくる。）
 （落ち着きと、優しさと、思いやりを持つた人間をつくる。）
 いかなる場合でも自分の身を守ることの出来る力と勇気をもった、強くいたい人間をつくる。）

・ 護身練胆
 （いかなる場合でも自分の身を守ることの出来る力と勇気をもった、強くいたい人間をつくる。）

といふ3つの徳を得て、自己を磨き、自分で修めて、半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せのために奉仕していく人間を育てる。つまり、少林寺拳法の修練を通じて、健康な肉体と、不屈の勇気と、円満なる人格を得ることにより、眞のリーダーをつくることにある。



< バレーボール部会 >

部会長（西小倉ジュニアVBC） 藤長 和代
 バレーボール部会は昨年度より二団体増え四団体となり、各チームとも指導者の下、週に2回程度の練習やスポーツ少年団主催の大会にも意欲的に参加しています。

昨年度には、約10年振りに宇治市スポーツ少年団本部長杯を開催することができました。当部会の宇治市4チームに近隣チーム、京都市内チームより各4チームをお招きして全12チームで大会を行いました。10年振りということで、ほとんどがゼロからのスタートといった状況で各チームの役員、指導者の方々と何度もミーティングを重ね、無事、成功に終わることができました。

今年度も、9月に開催の予定で準備をしている段階です。この大会を開催するにあたっては、宇治市教育委員会、(財)宇治市体育協会、宇治市バレーボール協会、(公財)宇治市公園公社の皆様方の後援をいただいており感謝しております。

また、洛南タイムズ社様、城南新報社様にもご協力いただきしております。

今年度も、この大会を成功させるべく、指導者一同、子供達の頑張りに負けない様、活動していきたいと思っております。

また子供達にも、他チームとの交流を深める大会として、これからも頑張ってもらいたいと願っております。



< ソフトボール部会 >

部会長（神明シスターズ） 荒木 伸行
 ソフトボール部会はリトルサーバルズ、宇治メッツソフトボールクラブ男子の男子2チーム及び神明シスターズ、宇治メッツソフトボールクラブ女子の女子2チームで構成しています。

部会全体の事業としては、各チームが2年単位で主催して行われる、本部長杯ソフトボール大会及び、部会全体で行う京都府スポーツ少年団ソフトボール交流大会の2つがおもに行っている行事です。

本部長杯ソフトボール大会では、女子チーム、男子チームの各順位決定試合を主に、男子、女子との交流試合、昼食の補助（お茶、お汁）、チーム対抗バーベンなどの交流事業です。

京都府スポーツ少年団交流大会は、事前準備、前日の用具等の準備、当日の設営、駐車場の誘導整理、大会運営を部会全体で行っています。

交流戦は男女ごとのトーナメント戦で行い、男女ごとに優勝、準優勝、三位の表彰を行っています。

また、負けたチームも、負けたチームどうしで試合を行って、一日楽しめるようにしています。



< 体操・ダンス部会 >

部会長（のぼりリトミック） 木ノ下豊子
 私たちの部会は、現在2つの団体で活動しています。
 各団の活動内容を紹介いたします。

【リトルリトミック】

マット、跳び箱、鉄棒、平均台の基本的な技術を身につけてようとする頑張っています。他の縄でジャンプ力、フランクでリズム、ボールでバランス、ゲームでチーム力を高めています。遊びを取り入れながら運動能力向上を目指します。

このチーズを団のモットーとして活動しています。ダンスを中心とした個人の位置づけ（たて、よこ）の繋がりをつくるのも重要な活動内容は異なりますが、体操・ダンスを中心とした様々な運動に取り組んでいます。また、1年に1回2回体で交流大会を開催しています。お互いの演技を披露した後、運動会で汗を流し友好を深めています。

5年生以上は京都府や京都市のリーダー会の参加者も多く、京都市スポーツ少年団ユニアリーダースクールでは中心的に活躍しています。宇治市の中などでも多くの活動があります。澤山の人から影響を受けることで考え方、生き方、進路が見えてくると思います。皆さんも汗を流し、お友だちをいっぱい作ってみませんか。



<ラグビー部会>

部会長 上田 博

タグラグビーは毎週土曜日の午前中の2時間、ユニチカラグビンド又はふれあい運動公園にて練習しております。

準備体操、パス練習、鬼ごっこなどの要素を取り入れたタグラグビーゲーム、その他子供の自主性に基づき、遊びをとり入れながら練習しております。

1年間のなかで大きな行事は・・・

- ・5月 琵琶湖フェスティバルにエントリー
(@滋賀県長浜ドーム)

今年度は6年生を中心に苦戦しながらも4戦☆全勝☆

- ・8月 アクトパル宇治にて1泊2日の合宿
タグラグビーの枠にとらわれず、水遊びしたり、カレー作りの予定
- ・11月 全国小学生タグラグビー選手権大会サントリーカップにエントリー (@京都市宝ヶ池球技場)

また、年に数回の懇親会を通して、より“きずな”を深めております。

小学生だけでなく、幼児から大人までファミリーで参加していただけます。

*** 是非、興味のある方は一度遊びにきてください。***



<複合部会>

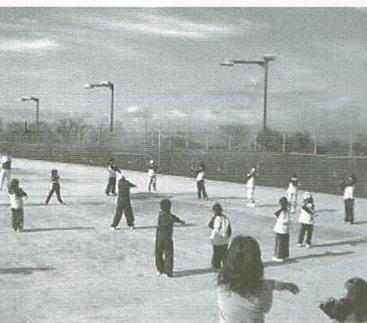
活動内容は、多種目・多世代をテーマに、年間を通じてジャンルを超えていろいろなスポーツを親子で楽しんでいます。昨年までは、バスケット、サッカー、テニス、バドミントン、卓球、ソフトボール、登山などのシーズンスポーツ活動、スキーや、登山、シヨンに取り組んできました。滋賀県や福井県、長野県にまで行きます。活動日時は、週1回、毎土曜日、基本は午前9時30分～11時までです。



<テニス部会>

部会長 谷口 繁

テニスのプロを目指すというより、テニスを通じてスポーツを楽しむことを目的としています。初めてスポーツをする小学生がほとんどの、体を使いつぶさないと、また練習の後には、ボールを投げ・大縄跳び・短距離走・長距離走なども行っています。テニス以外の活動として、野外活動・クリーン運動・エコ・ワーク坊主会・ラグビースポーツ少年団などを行っています。初めてスポーツをする小学生がほとんどの、手な人も、スポーツを楽しむことが目標なので、一度体験入団してみませんか。



事務局から

平成23年7月12日(火)、体育協会の平成23年度生涯スポーツ指導者研修会に参加しました。

大塚製薬(株)の細川さんが「スポーツ活動と水分補給について」と題し講演されました。

本団各単位団の指導者も大勢、参加されていました。
以下、主な内容です。

・スポーツと熱中症・

スポーツによる熱中症事故は適切な予防措置さえ知っていて、対応していれば防ぐことが可能です。この夏のような厳しい暑さのもとでトレーニングをする場合、トレーニングの質が低下するうえに体力・気力の消耗が激しく、トレーニング効果も期待通りに大きくなります。このような意味から、熱中症の仕組みを知ったうえで熱中症を予防することは、効果的なトレーニングを進めることにも通じます。

☆どうすれば熱中症を防ぐことができるのか?

- ◎直射日光のもとで、長時間にわたる活動は避ける
- ◎体を暑さに鳴らすポイントを知る
- ◎急に暑くなったりときは危険
- ◎こまめな水分補給
- ◎服装に気をつける

できるだけ薄着で、吸湿性や通気性の良い素材のものにしましょう。

屋外での活動時は、帽子をかぶりましょう。

防具をつけるスポーツ(剣道、アメリカンフットボールなど)では、休憩中に防具や衣服を緩め、できるだけ熱を逃がしましょう。

- ◎適切に休憩を取る
- ◎活動前に健康状態を確認する

体調の悪そうな選手・参加者がいないか注意しましょう。

- ◎活動中も健康観察を行う
- ◎具合が悪くなったら早めに対応する

緊急時のために、応急手当の研修や病院等への連絡体制を整えておく。